

ビクトーザ・バイエッタ と スルホニル尿素薬 を併用している糖尿病の患者様へ

# シックデイへの対応



シックデイとは、発熱、下痢、嘔吐、食欲不振で食事ができないときなど、体調不良のときを指します。そのような状態のときは、以下の事に注意しましょう。

1)血糖測定	体調が悪いと血糖が大きく変化しやすいので、血糖自己測定器を用い血糖測定を行うことが役に立ちます
2)水分補給	体調が悪いと高血糖で脱水症状を起こしやすくなります。水分を十分とるようにしましょう。
3)食事	食欲がなくても、おかゆや果汁など糖質を含む食品は、なんとか摂るようにします。1回の分量を減らし、回数を増やすといいでしょう。
4)その他	食事がまったくとれなかったり、高血糖（350mg/dl以上）が半日以上続く、のどの渇きがひどいときは、早めに医療機関を受診しましょう。

以下はあくまで目安です。

**強い症状はすぐに受診、症状が軽くてもが2日以上続く場合は必ず受診しましょう。**

## ビクトーザ・バイエッタの注射

ビクトーザ・バイエッタを始めたばかりの方  
最近ビクトーザ・バイエッタの注射の量を増やした方

副作用の可能性が あります。	ビクトーザやバイエッタには、注射開始や増量後に、胃腸障害（便秘、下痢、胃の不快感など）があらわれることがあります。症状が軽い場合は、しばらく注射を継続すると、ほとんどの場合改善しますが、症状が2日間以上続く場合は受診して下さい。また、まれに急性膵炎を起こす方がいます。激しい痛みや嘔吐がある場合は、使用を中止し、すぐに主治医に相談してください。
-------------------	--

ビクトーザ・バイエッタをすでに2ヵ月以上継続して使用している方

注射の量	ビクトーザやバイエッタは、原則として強い低血糖は起こしません。また、シックデイの時は、普段より血糖値が上昇していることが多くみられます。食事が全くとれない場合も、いつもの量を注射しましょう。
------	---

## スルホニル尿素薬の飲み方

食事量に応じて内服します。  
ふだん食前に内服している方も、シックデイの時は食後に内服して下さい。

食事摂取量が半分以上:通常量を内服します  
食事摂取量が半分程度:半量内服します  
食事摂取量が3分の1以下:内服中止します

## ※ スルホニル尿素薬とは

オイグルコン・ダオニール・グリミクロン・アマリール・ラスチノンなどの薬が含まれます。  
内服薬の中では強いお薬で、低血糖をおこす可能性があります。

後発医薬品(ジェネリック医薬品)を服用していて、ご自分がスルホニル尿素薬を内服しているのかわからない場合は、かかりつけ薬局などにお尋ね下さい。

もし、低血糖になった場合は、糖分(ブドウ糖 または 砂糖 10g 以上)を摂取して下さい。

何か困った場合は、必ず主治医に相談しましょう。我慢すぎないようにしましょう。